


(専門科目)

科 目 名	特別講究（生涯学習論） 英語名：Special Seminar on Lifelong Learning	必修/選 択	選択必修	
		単位数	2 単位	
		担当教員	古塚 典洋	
【授業概要】 本科目では、実践にねざした自律的で調和的な研究が行えるよう、理論と実践の往還の観点から「生涯学習」の理論を修得し、身につけることを目標とする。 具体的には、①生涯学習の理論を学び、修得することを通して、②自身の専門分野の知識や技能を活かしつつ、教育に関する理論と実践を往還して、自律的で調和的な研究を遂行する能力を身につけること、③教育の現場におけるさまざまな課題を本質的な問いとして提示し、実践から応用可能な理論を導くことをねらいとする。 また、生涯学習論の修得の過程においては、理論を抽象的に理解するだけでなく、スクーリングの機会等を活用し、領域横断的なディスカッションを通して、実践をめぐる自らの認識枠組みのとらえ直しを行う。 以上の目標を踏まえて、本科目では博士論文の一部をなす研究成果の完成を目指す。				
【キーワード】 生涯学習、おとなの学び、コミュニティ、理論と実践の往還、ひとりで学ぶ				
【授業の到達目標】 1. 生涯学習に関する基礎を理解し、また受講者が互いに自身の実践を省察し相互に検討し合うことを通して、生涯学習を理論的にも実践的にも理解できるようになる。 2. 生涯学習の理論を修得し、自身の専門分野の知識や技能を活かしつつ、教育に関する理論と実践を往還して、自律的かつ調和的に研究を遂行できる能力を持つようになる。 3. 生涯学習の理論の修得を通して、教育の現場における課題を本質的な問いとして提示し、実践から応用可能な理論を導く能力を身につけ、研究課題の抽出と研究テーマの設定ができるようになる。				
【教育の方法】 スクーリングの実施【あり】 スクーリングのメディア受講【可】				
【授業計画】				
回	内 容			
1	オリエンテーション：本授業のねらいと概要			
2	生涯学習とはなにか			
3	生涯学習を研究するとは			
4	生涯学習の理論			
5	生涯学習論の対象と方法			
6	生涯学習を実践するとは			
7	コミュニティをめぐる教育・学習・実践			
8	省察的実践論			
9	「ひとりで学ぶ」をめぐる理論			
10	先行研究から問いを抽出する			

11	研究テーマを設定する
12	テーマと対象に応じた研究方法を検討する
13	研究の全体を計画する
14	研究テーマに沿った文献を検討する
15	まとめ
試験	
【履修にあたっての準備・履修上の注意点】 指定したテキストを読み、理解を深めておく。テキストについては初回に指示する。	
【スクーリングでの学修内容】 学修の初期のスクーリングの目的は、①授業の目的や学修の概要を知り、本科目を通してなにを目指すのかを受講者と教員が相互に確認すること、②研究によって改善を目指す課題を明確化することである。また、学修の終期には、学修のまとめとしてもスクーリングを行う。 学修の初期のスクーリングに関しては、スクーリング実施前に、生涯学習の理論と実践に関する文献の予習を行う。スクーリング後には、スクーリングでの学修の成果を踏まえて、生涯学習論に関するレポートの作成準備を進める。 学修の終期のスクーリングに関しては、事前に各自で個別論文の研究計画を立てておく。スクーリングでは生涯学習論の成果をまとめた研究書や学術論文についての理解を深めるとともに、それらの知見を踏まえて、実践にどのように反映できるのかについて発表と検討を行う。 スクーリング後には、学修全体の成果を踏まえて、科目修得試験のレポート作成にあたる。このレポートでは、各自が設定した課題についての、研究の意義や必然性を明らかにしてうえで、解決への道筋を示すことが求められる。 スクーリングはこの2つの時期を含み、合計4コマ6時間以上をめぐり行う。	
【評価方法】 可否については、学修成果の実践への活かし方に関する発表（25%）、レポート1本（25%）、科目修得試験（50%）で評価する。	
【教科書】 三輪建二『わかりやすい省察的実践論：実践・学び・研究をつなぐために』医学書院、2023 牧野篤編『社会教育新論：「学び」を再定位する』ミネルヴァ書房、2022年	
【参考図書】 佐藤一子ほか編『共生への学びを拓く：SDGsとグローバルな学び』エイデル研究所、2022年 牧野篤編『人生100年時代の多世代共生：「学び」によるコミュニティの設計と実装』東京大学出版会、2020年 三輪建二『おとなの学びとは何か：学び合いの共生社会』鳳書房、2018年 S・ウォレス『教師がまとめる研究論文：量的研究・質的研究・アクションリサーチ』鳳書房、2020年 P・ジャーヴィス『成人教育・生涯学習ハンドブック：理論と実践』明石書店、2020年	
【教員メッセージ】 ・「理論と実践の往還」とはなにを意味するのか。「学ぶ」とはいったいなにか。ぜひこの問いに、自分なりに答えをだしてほしいと思います。 ・スクーリングでは、「問うこと」「表現すること」「答えをだすこと」を大切にしながら、ディスカッションを通して、学びあいによる省察を行います。	
【備考】 特記事項なし	